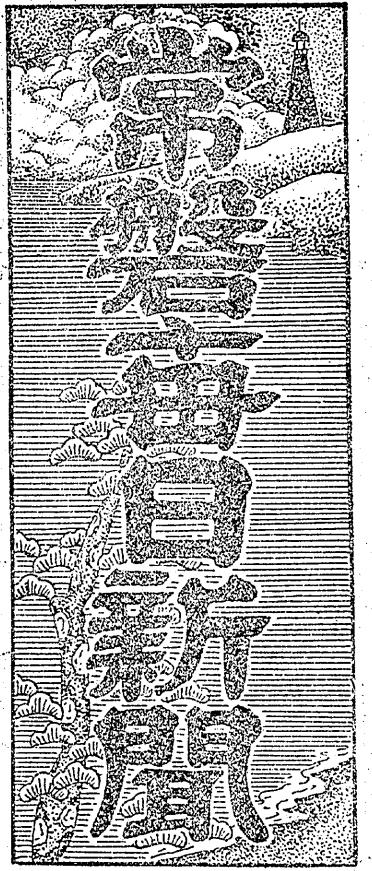


【刊夕】日六十月二



原五稅郵錢十五月一 錢貳金部一 價九  
錢十五行一語字三十號五 料告廣  
治文崎川人刷印人輯編行發  
五三町橋長町平郡城石縣島福  
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發  
社會式株刷印日每警常 所刷印

### 農村を虐待しては 景氣回復せず

警 岳 辻 人

井上大蔵大臣は今期議會に於て我國の不景氣も底を突いて好轉すると云ふことを屢々いふが、景氣と云ふものは總て購買力に依つて起るものと私は考へて居る購買力がなかつたならば不景氣は決して轉回しない、而して此購買力は何處から來るか云ふと、外國から來る場合もある、外國が好景氣で輸出が旺盛になると云ふ場合には、直接に此好意氣が來る場合がある、之を大蔵大臣は一に外國の影響、外國の影響と言ふが之を私は否認せぬ、外國の好景氣に依つて刺戟を受けて好くなると云ふことは當然である、併ながら外國から來る場合が絶對的ではない極めて是は部分的である、外國から來る所の購買力は我國では生糸が賣れるのみである、其他に外國に輸出するものは澤山はない、支那の銀貨が暴落し、支那の輸出が止つたと云ふことはあるが、大體我國の生産額は農工業を通じて百二十十

億と稱して差支ない、其中で外國に輸出するものは二割はないのである、二十億と稱しても僅に一割何分しかない、此外國の景氣の刺戟のみによつて我國の景氣が好くなると云ふことは全く間違である、然れば此景氣の回復を待つと云ふならば我國全體の購買力を旺盛ならしむるより外に方法はなかと考へるが、此我國の購買力は實に八割五分以上若くは九割まで全國の農村にある、即ち日本の購買力は農村が大部分であつて、

### 早 春 旅

渡邊何鳴

春寒き鮮滿の地に旅立たる、小鳥君におくる  
春淺し旅立つことに何やかや  
如月の雪に旅立つあはたがし  
長城の二月寒し水碓  
妓生に春愁の子となるなけれ  
しみじみと故國戀ふる夜や馬糞焚く  
温突に旅のくさぐさ語りけり

日本の生産力に對しては農村が大部分であると云ふことをかかんがへなければ決して我國の景氣と云ふものは回復すると云ふことはないと思ふ、然るに井上大蔵大臣は唯消費節約さへして、さうして生産「コスト」を切下げて物價が下り勞銀が下

## 舊正月初大賣出し御披露



平五丁目  
電話九番九九番

常に信用と責任ある  
良品 廉 賣

### 精幸堂時計店

平町土橋通り

### 最中 泉 屋

平五丁目  
電話六六八番

### 酒界の霸王 英雄正宗

發賣元  
福島縣平町

鈴木酒店

舊二日三日は特に景品  
思ひ切つて差上ります  
玉子ケーキ  
十ヶ入金十錢

### 本品の特長

- 一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるものにして滋養豊富にて實に本品三ヶで卵一個の効力を有す
- 一、日数を經るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す
- 一、最新式機にて製造し大量生産なるが故に價格低廉なり

製造發賣元 たけや茶店  
平町三丁目

# 例景品付大賣出し

## 吉 木 酒 店

平素の御引立に報ゆるため格安品を豊富に取揃へ御奉公大提供!

舊正月二日三日四日の三日間

- ### 景品付の特價提供
- |              |        |
|--------------|--------|
| 銘酒大柏 一升二付    | 金壹圓貳拾錢 |
| 柏正宗全         | 金壹圓    |
| 上 酒全         | 金七拾五錢  |
| 中 酒全         | 金六拾五錢  |
| ヒゲタ醬油 一升二付   | 金五拾錢   |
| 德用醬油 全       | 金拾五錢   |
| 最上御頭みそ 一貫匁二付 | 金六拾錢   |
| 德用みそ 全       | 金參參五錢  |
- 景品は例年通り澤山差上げます  
柏 木 酒 店  
長橋町 電話二四三番

私の感想

母の祈り (中)

(婦人座談會朗讀)

金成きみ

我家庭を顧るに最早世の中  
の凡てから遠ざかつた世捨  
人同様の老人があり、初老  
の主がある、今將に思春の  
期に近づきつゝある、長女

あり、良きも悪きも唯その  
まゝに受入れる幼ねんの長  
男がある次に新しい時代の  
女として立たねばならぬ芽  
生の女数人實ににぎやかで  
雑然とした家庭であるよう  
にした家庭に瘠せても枯れて  
も主婦として實に恐ろしき  
社界渦の中に立たねばなら  
ぬ、私自身の責任を考へる  
ときその重大さに一そ空恐

ろしい程である、本當に途  
方に呉れる事のみ多い静か  
に顧るにがく深く修養足り  
ぬ然も人並の健康に恵まれ  
ぬ私に其重く且つ大なる荷  
を負ふべく供へるに何物も  
ない、何に願ひ何に頼つて  
人生を進むべきか考へざる  
を得ない人間生活は金とパ  
ンで凡てが解決なるものな  
り之程容易事はない、私等

婦人の一生も主人が働いて  
得た金で或は親譲りの財産  
で三度の食事を美味しく工  
風したり子供等の着物を縫  
つたり洗濯したり映畫を見  
たりピクニックしたり時に  
は夫婦喧嘩をしたり子供を  
叱つたりをうした一日の  
の連続が我々婦人の一生で  
ある、ない何と容易な果か  
ない情ない一生であるさう

であつてくれるべく願ふ我  
々にも神は決してさう計り  
は御授けにはならぬ必ず試  
練の時がある筈である、必  
ずあると云ふ事が他人の様  
我見我事に淺い乍らの経験  
に私はやう／＼に考へさせ  
られた (續)

應答口調も丁寧で

一般需要家大喜び

東部電力の奉仕班が

四倉で好評を博す

東部電力株式会社四倉營業  
所では四五日前より同社奉  
仕班員が四倉電氣會社と合  
併後だ一回の電球及び燭  
敷の調査をなしたつゝあるが  
流石に奉仕班と名稱するだ  
けにその需要家に對する應  
答口調も到つて穩かたよく  
需要者に理解し得るやう説  
明をなし四電時代に再三問  
題となつた送電線路の如き  
裸線となつて危険多きため  
これが架け替を要求され三  
件も武田所長の監督下に全  
部枯け替實行されてから町  
民はその危険より脱出して  
大喜びをなし故障其他にて  
電話をすれば舊弊を去つて  
直に工夫出張して懇切に應  
ずるがため最近にいたり大  
會社なるが故に一層横暴の  
限りを盡すと想像してゐた  
に反してことに一般需要家  
連は満足し點燈料集金員の  
如きもこれと同様なので相  
互のために納税組合を組織

家庭に入る

警女卒業生の  
大部分

縣立磐城高等女がくこの  
本年度卒業生は百九十名で  
あるがこのうち家事見習ひ  
が百二十四名で他の六十六  
名は上級がくこうに進むが  
上級がくこう志望別は左の  
如くである

川瀨炭礦  
復活す

昨日起工式

出水のため久しく休山中で  
あつた石城郡赤井村川瀨炭  
礦はその後炭界の好轉につ  
れ漸やく復活の氣運が見え  
て同礦主川瀨幸治氏が再び  
經營するに至り昨十五日  
起工式を舉行したが採炭着  
手には来る四月頃になるだ  
らうと

社告

明日及び明後日は舊歴の  
元日二日に相當任り従業  
員慰安の爲め休刊候間御  
諒承願上候  
二月十六日  
常磐毎日新聞社

平町人事

出生

新川町二十八 松崎秀吉氏次女千恵  
南町六十四高 橋利太郎氏五男輝夫  
榎小路二十四 藤川喜三郎氏六男  
建國  
村木町三十九 漆紙八郎氏長女和子  
結婚 姻  
平町二丁目(東京府下岩手町)西  
家石川周一郎氏(三〇)東京府下  
中野町喜多村登貴子(二十五)

神谷堆肥講習

石城郡神谷村農會では十四日午  
前九時より梓積堆肥講習會  
を開催し郡農會より柴田技  
手出張地指導をなした

小名濱町會

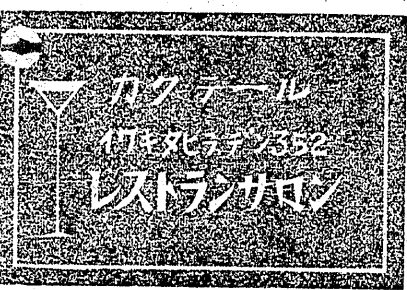
石城郡小名濱町では十三日町會を  
招集傳染病豫算その他に關  
し協議したが明年度豫算は  
更に二十五、六日頃招集す  
ると

寄附金問題で

四倉港修築行惱む

本年から着手するが  
さて工費はどこから  
四倉町民の多年の宿望であ  
つた四倉漁港修築問題は縣  
の認可を得ていよいよ本ね  
ん度より三ヶ年間の繼續事

業として工費四十五万圓の  
もとに行はれ地元四倉町で  
は本ねん度寄附金七万圓を  
出費する事に、だが當局  
では協定案として一割七分  
の寄附を受け完成後の廻船  
による五分の手数料を全部  
町に納付してもらひたいと  
再び折衝を重ねたが組合で  
は回船料を町に收得される  
事は應じ得られぬ問題であ  
るとなした爲め遂に交渉は  
決裂してしまつたが當局で  
は着工間近にせまつてある  
ので寄附金繰出に行きなや  
みを生じて居る



舊正月初大賣出し  
御披露

御買上金高多少に不拘御年玉呈上  
十八日午前一時より午前六時まで  
御来店御買上の方に縁起のよい  
三井の富久袋進呈  
平町三井呉服店

二日午前六時ヨリ  
三日午前六時マデ  
御出  
の方には特別景品差上  
げます

平田町

新妻はき物店  
電五七四番

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目電三

謹告

今回弊社取締役社長川崎文治氏滿鮮旅  
行に出發留守中は取締役佐々木龍若氏  
一切の業務を擔當可仕候間何卒不相變  
御愛顧の程偏へに奉懇願候

常磐毎日印刷株式會社  
平町長橋町三五(電六三〇番)

### 故郷をあとに 暫しのお別れ

川崎本社長の出發  
愈々二十日早朝に

南滿鐵道會社の招聘によりお伽のおぢさんとして雪の滿州へ講演の行脚に出立する川崎本社長は来る二十日早朝午前五時二十分平發列車にて愈々平町へしばしの別れを告げて渡滿することになったが之を好機として平教育會では滿鮮地方における教育上の社會的施設に關して視察を囑託す

### 女の博士が來平

黒田チカ女史が  
磐女視察のため

目下東北地方の女學校を巡回視察中の文學博士黒田チカ女史は今夕平着の磐越東線で來平し明日磐城高等女がくつろぎを訪問視察する筈であるが同女史は東京女子高等師範の出身で昨年博士號を獲得し學界に於ける女博士として一般からもてはやされてゐる

### 自轉車乗り 危く轢殺

自動車衝突し

平町尼子自動車部方運轉手江名町中の作居住吉田忠哉(三)は十五日午後四時半頃乗合自動車一六一九號を運轉し平町に向けて内郷村綴國道を疾走中平の内地内街角に於て自轉車にて急カー

特高課では一名、男を引致猪狩特高主任で嚴重取調中であるが右は平町四丁目四倉バス合同組合運轉手木田某(三)として昨年中より發賣禁止された雜誌「無産青年」を密送し同主義の宣傳を潛行裡に行ひつゝある事が平

### 強盜に逢つたと 大工さんの狂言

廿五圓で大盡遊の末  
たつた一人で大格闘

十五日午前六時頃石城郡小川村駐在所に一名の男が強盜に逢つたと青くなつて届出たので同所巡査が聞き訊して見ると右は小川村上小川字川原田大工職白井忠(三)とて舊年末に際し借金返済の爲十四日平町に來たり二十五圓を金策して同日午後八時頃歸宅の途中下小川村梅地内縣道にさしか

### 民謡大會 内郷昭和館で

内郷昭和館で

内郷村磐城炭礦では最近従業員間に民謡が盛んに行はれるので同炭礦が主催となり来る三月一日午前十時より内郷村昭和館に於て民謡大會を開き従業員より選抜して出場せしむると

### 雜誌を密送 連類者多か

十五日午前七時頃から平署

署の探知する處となつたのである他にも相當連類者あるものと見られてゐる

詩南社小集 平町詩

南社小集は来る廿一日午後六時から同町マルトモホールで開催すると

### 合同成立 平・小川間

平町小川間

平町小川村間の乗合自動車は從來芹澤、松崎、菊地の三自動車店で猛烈な競争をして居たが十三日夜櫻村平署長、百足縣自動車協會幹事等の斡旋で三社自紙のまゝ合同の妥協成り近く會社組織とすることになつた

### 松本氏轢死 少壯氣鋭の人 不慮の最期を

石城郡平窪村大字上平窪農

### 豊間漁船の會計殺し 愈々犯人逮捕されん

岩手縣釜石署大活躍

石城郡豊間村鯉漁船福實丸會計係鈴木熊藏(三)は昨年十月十五日岩手縣釜石海岸に於いて慘殺死體となつて発見されたがその後これが犯人については何らの端緒を得なかつた處去る十四日



明日のラジオ  
十七日  
報豫氣天  
今晩は北東の風  
小雪模様明日は  
北西の風天気次  
だいによくなる

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報 經
- 前九、二〇 料理献立「日
- 魚」ホワイイト「イト」
- ウエゼン「朝倉長吉
- 發表 日用品値段
- 前九、二〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「日本女性の愛選を述べ
- て女性に望む」三波多野

### 平町で 麻雀大會

廿二日夜開く

平町三丁目大谷時計店裏日本麻雀俱樂部にては廿二日午後五時から麻雀大會を開催し會費五十錢にて一般の出場を歓迎する由であるが一、二等には優勝カップ三等以下にはメダル其他賞品を贈呈すると

體語  
寒溪計  
電五〇番

### 御挨拶

南滿洲鐵道株式會社からの招きに応じ同社經營に係る沿線二十餘ヶ所の小學校に電話行脚の爲め廿日午前五時廿分平發列車で出發する事になりました。來月下旬には歸平する豫定で御座います。此際一々御挨拶に參上致さねばならぬので御座います。出發前の準備で何彼と慌しい際の爲め甚だ失禮を顧みず紙上で御挨拶申し上げ末筆ながら御清榮を祈ります。

### 川崎文治

- 象通報 告知事項
- 後一、〇〇 經濟市況
- 後二、〇〇 家庭講座「三
- 味線のお稽古」(第四講)
- 杵屋彌七
- 後三、〇〇 經濟市況 氣
- 象通報 經濟市況 積雪量
- 後四、〇〇 ニュース
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四五 今晚の番組豫
- 告
- 後六、〇〇 (子供の時間)
- 一、獨唱(渡邊八重子)伴
- 奏 櫻兒童音樂會 宇川
- 好雄「かやの實」其他二
- 對話唱歌「私はお人形に
- なりました」三、兒童劇
- 「子さしのリス」
- 後六、三〇 英語講座「中
- 等科」第二講の四 渡邊
- 清聖
- 後七、〇〇 ニュース 氣
- 象通報 番組豫告 告知
- 事項
- 後七、二五 講演 未定
- 後八、〇〇 漫談「夢」北原
- 英太郎伴奏四人
- 後八、三〇 ラヂオトラマ
- 「陸上平穩」放送指揮南
- 映三
- 後九、〇〇 映畫物語「双
- 影悲帳」徳川天露 伴奏
- 指揮宮野顯
- 後九、四〇 時報 全國ニ
- ニュース 氣象通報 番組
- 豫告 告知事項



**女捕物 おぼえ**  
東京 橋場船刺 (米田安藏監)

△心中片助け (其二)  
釣と聞いて番頭の竹八が、急に青くなつたのを、秘蔵安藏は見過さなかつた。

此の竹八も又釣好きの一人で、何時も釣の話が出る。番頭の方は釣をやりたしても、直に心を此方へ向けるのである。青くなるのみならず、髪もあたりに震えるさへ見せるのだ。最初から釣だと胸に浮んだ安藏は、秘蔵安藏が身中に震がって行く。

『今日はお伴は逆もむづかしいでせう』と問を置いて答える。『ハ、ハ、ハ、ア』と安藏は腹と笑つて『遊びに出掛けるのだ、用が有つちやア仕方があるめが、マしなすつたかね』



『イニ別段...』とハッキリし安藏は腹だけ思ふもの、突ッ込んで釣だけの事でもせず、其船にして戻つて行く。

『此の大島屋一家に、何か心掛けた、其時安藏を誘つたのだが、安藏が留守のため一人では船を動かさず、船頭一人で遠く羽根田の方まで飛出た。此日は存外得が あつたので、聊か酔つた外、船が揺れ、大島屋へ来た時は三ヶ月が過ぎ、沈む頃合なのだが、月が西へ沈んで来てあつたので、時船へ何か流れて来てあつたので、夫れが水死人であつたので、番頭は好人物、助かるものなら助けてあげたいと、引上げて見ると、年頃二十五六の男だつた。

『何うだらう、助からうか?』  
『水は好い加減に飲んで居るが、身障にぬくみがありやす、手を洗つて逃げれば助かりやす』  
『夫れが水死人であつたので、早く船を何處かへつけてお果れ...』  
『此處まで来りやア、何處だつて同じ事だ、新銭座へ歸りやせう』

『急いでやつて果れ』  
船は揺れたが、善兵衛はイッモなく手間取つたので、外の遊歩道へ無く海へ出たのだから、家も同かなしにギクリツとした。

**配 達**

風味 平町三丁目

**大勝園**

本舗 鈴木義忠  
電話三九六番

迅 速

商賣戦線異常あり  
決死的大廉賣!

**秋山時計店**

平町有聲座前

**お醤油は ヤマフル**

醤油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

鹽屋

**金山崎合名會社**

福島縣 平町  
電話(營業部一〇番) 醸造工場二七番

看護婦急派  
の求めに應  
じます

平町南町  
**平看護婦會**  
電一〇七番

景品付初大賣出し

**噂の種**

モリタヤ洋品店  
5丁目電353

て總は命用御の物刷印  
番〇三六話電 會社式刷印日每警常

**舊正月初大賣出し御披露**

△特製學生カバン 廿五錢  
△女學生用手提 五十錢  
△上皮製ランドセル 貳圓廿錢  
△上カテーカメラ 五十錢

景品山の如し

平町一丁目 **森下商店**

**大塚肉店獨特の 内地牛大廉賣**

引續き致します

●特...  
一、内地牛である事  
一、美味(ヤハラカイ)  
一、價格の絶對安い事

好評之

●牛切出し百匁金十錢  
配達迅速確實に致します

◎舊正月二日には景品差上げます

平町前通り

**大塚牛肉店**  
電話六六七番

▼特賣價格

牛並肉 百匁二付	金二十錢
牛上肉 全	金四十錢
牛ロース 全	金六十錢
牛ヒレ 全	金八十錢